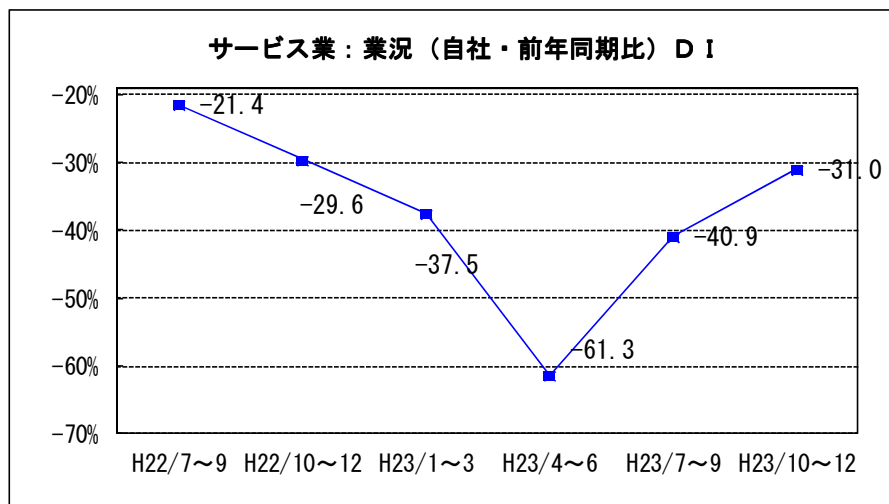


5. サービス業の動向

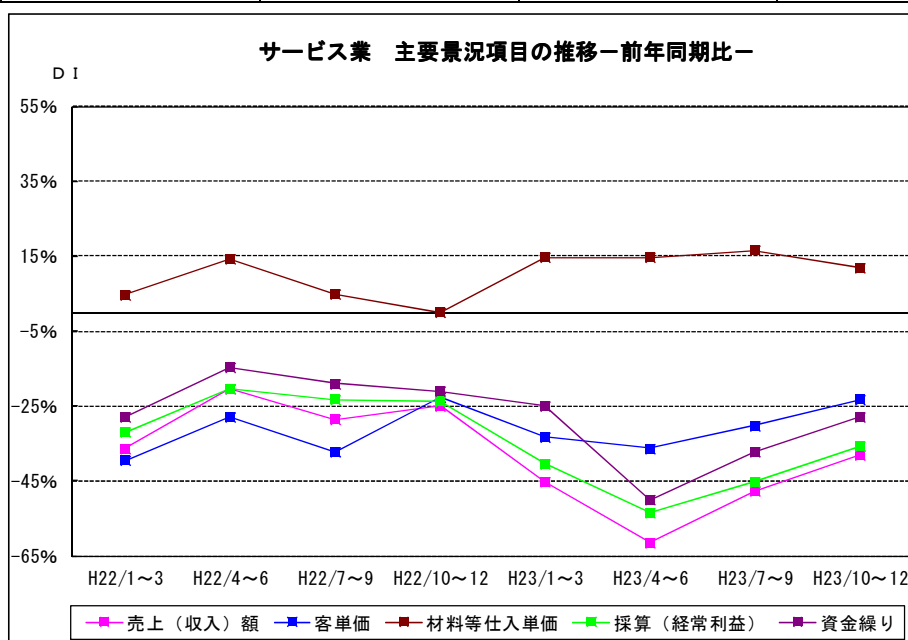
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス31.0。前期マイナス40.9から9.9ポイント上昇し、回復した。来期見通しはマイナス14.3とさらに回復の見込み。



サービス業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

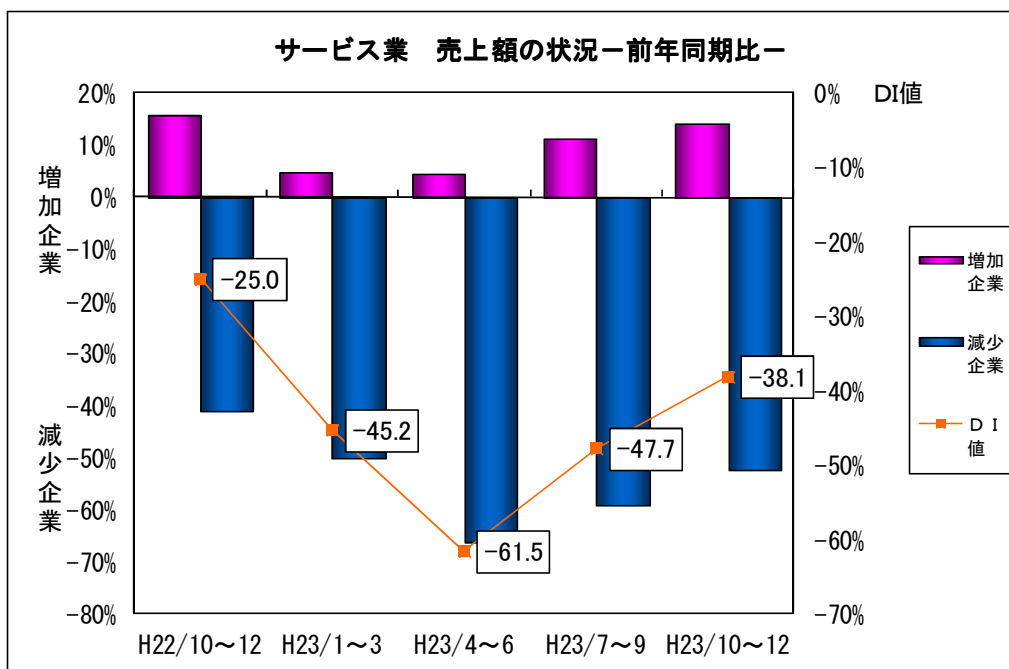
	前々期 (23年4月~6月)	前期(A) (23年7月~9月)	今期(B) (23年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲61.5	▲47.7	▲38.1	9.6	▲14.3
客単価	▲36.4	▲30.3	▲23.3	7.0	▲9.3
材料等仕入単価	14.7	16.6	11.9	▲4.7	14.0
採算(経常利益)	▲53.5	▲45.3	▲35.7	9.6	▲14.3
資金繰り	▲50.0	▲37.2	▲27.9	9.3	▲18.6



(2) 主要項目の概況

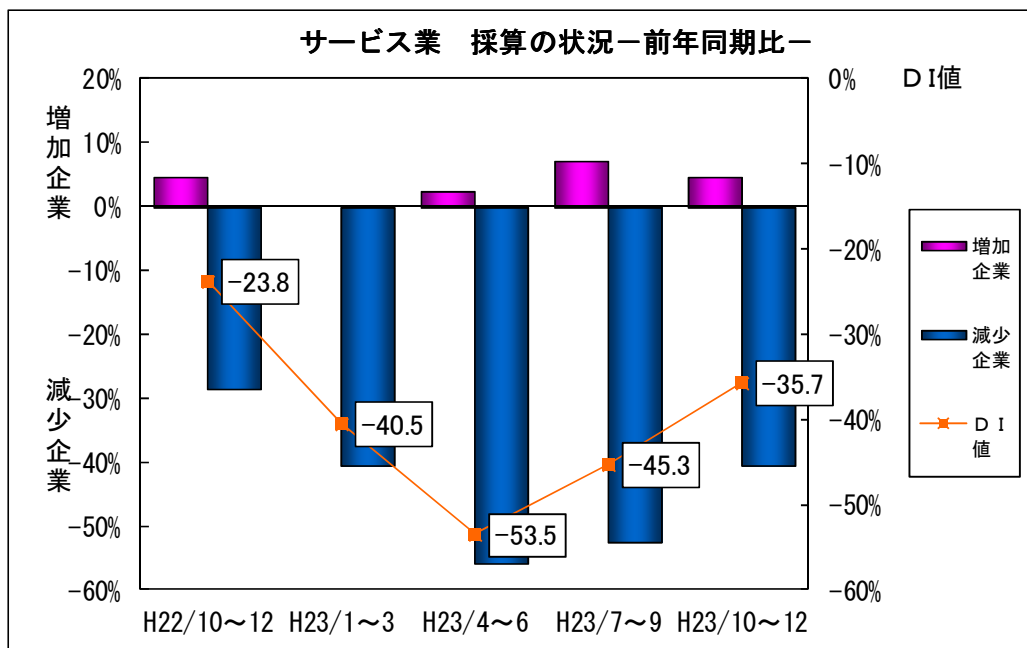
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I値は、マイナス 38.1。前期のマイナス 47.7 から 9.6 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 14.3 とさらに回復の見込み。



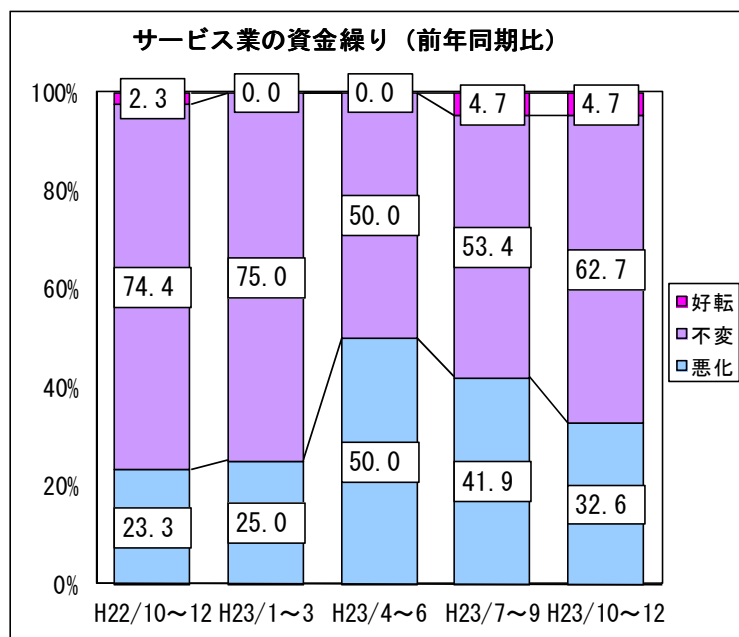
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、マイナス 35.7。前期のマイナス 45.3 から 9.6 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 14.3 とさらに回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 27.9。前期のマイナス 37.2 から、9.3 ポイント上昇し、回復した。来期見通しはマイナス 18.6 とさらに回復の見込み。

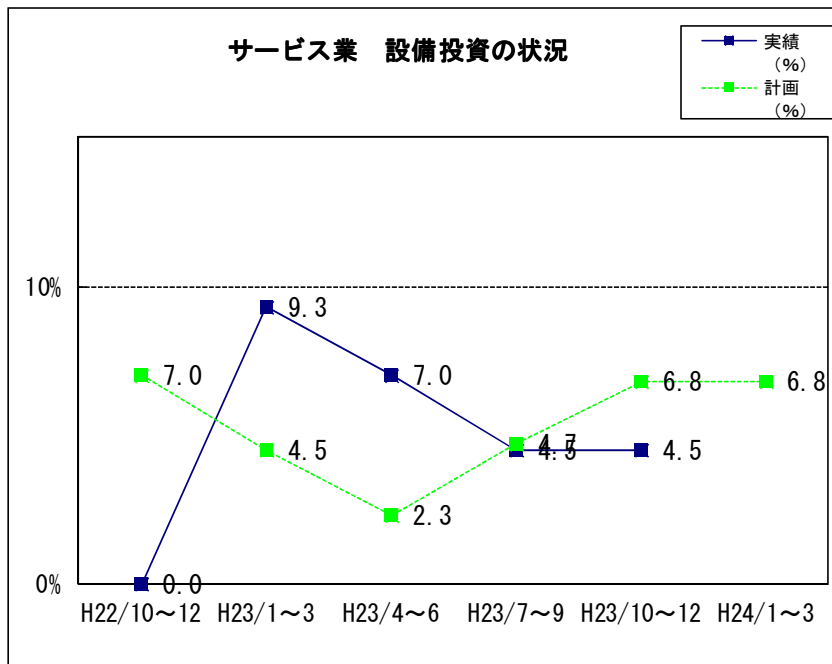


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービ ス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
前期実施 (実数)	2	0	2	1	0	0	1	0	0	42
(%)	4.5	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	95.5
今期実施 (実数)	2	0	0	1	0	1	0	0	0	42
(%)	4.5	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	95.5
来期計画 (実数)	3	0	1	1	2	0	1	0	0	41
(%)	6.8	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	93.2

今期設備投資を実施した企業は 2 社（4.5%）。前期（平成 23 年 7～9 月期）の実施企業と同数。来期は 3 社（6.8%）が建物、サービス、車両・運搬具、OA 機器への投資を計画している。

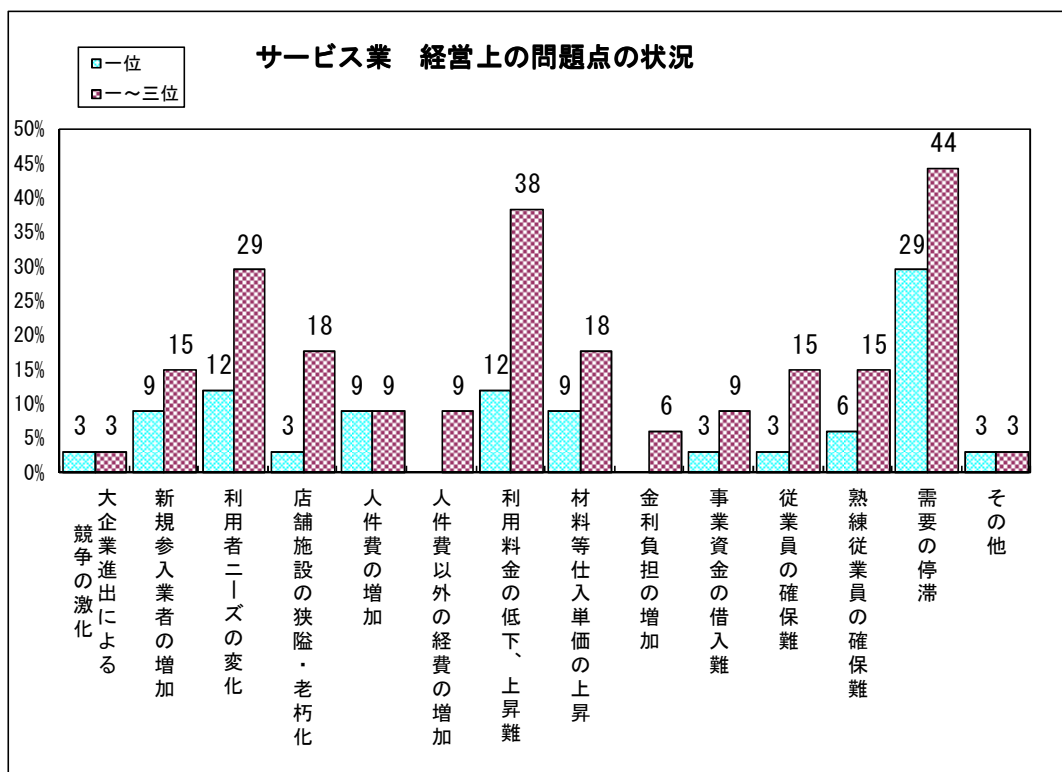


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 59.5%→今期 44.1%)
- ・ 「利用料金の低下、上昇難」 (前期 21.6%→今期 38.2%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 45.9%→今期 29.4%)

となっている。



以上